



## 令和5年度 学校法人尚絅学園事業計画書

## I. はじめに

尚絅学園は平成25年に向こう10年間の学園の中長期計画として「長期ビジョン(将来像)と中長期行動計画」を制定し、その後、平成27年、平成29年、令和元年及び令和3年の計4回改定を行なながら、学園のビジョンの実現に向けて取り組んできました。令和5年度からは、今後10年間の「第二期中長期計画」を制定し、尚絅学園の現状と課題、学園を取り巻く環境変化や今後の方向性を踏まえ、本学園の自指すべき姿(ビジョン)達成のための諸課題に取り組みます。今回の令和5年度事業計画書は、「第二期中長期計画」における諸課題への取組に加え、環境変化に伴う諸課題に適宜迅速かつ柔軟に対応し、着実に施策を実施するための年度計画になっています。

## II. 主な施策

本学園が教育研究機関として、社会の要請に応え、学生・生徒等がよりよい環境で充実した学校生活を送るためには、各設置校における教育の適切な実施とともに、地域に根ざした魅力ある学園作りや経営力の強化による安定的かつ強固な財務基盤の構築が必要不可欠です。

## 1. 学園全体・学校法人

○ガバナンス 経営の規律と誠実性を維持しつつ、建学の精神、教育理念に則った教育を実現するための体制整備に努めます。

管理部門と教学生部との円滑な意思疎通・連携を図るとともに、相互チェックを適切に機能させます。

人権・安全へ配慮した危機管理体制の強化及び、環境保全に向けたSDGsの取組を強化します。

○財政 中長期計画に基づく適切な財務運営を確立し、安定した財務基盤のもと収支バランスの確保に努めます。

## ○人事

財政状況を踏まえた適正な人員配置と、公正・公平で納得感のある人事評価の確立と適正な処遇の実現に努めます。適切な人事管理・労務管理体制の確立と、教職員の資質・能力の向上と職能開発を実施します。

## ○施設設備

外部環境の変化に対応した教育・研究環境の整備と適切な運営・管理を実現します。

○同窓会・後援会・地域との連携 同窓会、後援会および地域との連携強化に努め、各設置校の発展に寄与する活動を支援します。

## 2. 尚絅大学・尚絅大学短期大学部

本年度から第二期中長期計画(2023年4月~2033年3月)がスタートします。第一期中長期計画において、教育内容の改善としてカリキュラム編成の高度化や学生からのニーズに適切に対応した取得可能な免許・資格の見直し、教育方法の改善としてシラバスの記載の充実や成績評価基準の適切な運用を行なってきました。また、本学の強みや特色である「食」「子育て」「分野などに加え、文化、観光分野の地域連携や貢献についても、外部から一定の評価を得て相応の成果も挙がっており、この間、産業界・自治体・他大学等との連携も進んできています。引き続き、さらなる教育方法の充実、実修成果の見える化や地域との連携活動を推進します。昨年度、3年ぶりに再開した海外協定校との交換留学の推進、地域に向けたシンポジウム・研究会・公開講座などの充実を図ります。

一方、本学における喫緊かつ最大の課題は学生確保です。18歳人口の減少、学生ニーズの多様化等の影響により全国的に見られる女子大や短大離れの状況は、本学も例外ではなく、昨年度はこの10年間で初めてすべての学部・学科で入学者が定員を下回り、今年度はさらに大学全体として入学定員充足率が下がる見込みで、大変な事態であると認識しています。この第一期中長期計画の最大の悩み残し課題について、本年度は、特に、従来から収容定員率の低い現代文化学部、総合生活学科の教育内容の魅力を高めると共に、両学部・学科や新設で初年度の学生募集活動が年末からの開始になり大きく入学定員を下回っていることでも教育学部を中心に、それぞれの学部・学科の教員、入試課題をはじめとする職員の教職協働で、これまでのデータに基づき設定したオープンキャンパスの参加者数や出前授業・大学での模擬授業数の目標達成、さらに有効効率的な広報活動を行い、学生定員収容率の確実な上昇を図ります。

また、本年度は大学と短期大学部が共に日本高等教育評価機構による認証評価を受審する報告書を作成する年です。昨年度、発足させた内部質保証委員会を中心に、教職員一人一人のPDCAサイクルの実施を含めて、1年間かけて、怠りなく自己点検評価報告書の準備をします。

## 3. 尚絅中学・高等学校

令和5年度は、第一期中長期計画期間中から引き続きの課題である、教育の質向上やグローバル教育・探究学習・キャリア教育などの本校独自の魅力アップに力を入れるとともに、第二期中長期計画開始初年度にあたるため、今後の計画遂行に向けた準備・計画を行います。

また、大きな課題である受験生・入学生の獲得について、広報戦略の抜本的な見直しを行うために、さらなる事業内容の充実と新しい取り組みを以下のように策定しました。

「教育の質向上」については、教育の質を上げるために探究学習を充実させ、生徒の能力を最大限引き出すための教員の指導力向上を目指し、専門教科の指導力だけでなく、グローバル時代を生き抜く生徒を育成するために教員自身の視野を広め、教育力の向上を目指す。

「品性があり社会に貢献し得る生徒の育成」については、尚絅中学校高等学校独自のシステムを充実させ、生徒が自分自身を見つめ、自分にふさわしい生き方を見出すことができるような「針路プログラム」を作成し、そのために、社会と時代の動きに目を向け、一人の人間として、また女性としての将来について自ら考えていくことを軸にした指針を示す。

「生徒支援の充実」については、生徒が安心して学べるように経済的に就学困難な生徒への各種制度を充実させると共に、育友会・同窓会・後援会との連携をさらに深めながら生徒の日常の学業・課外活動等の支援体制を整える。

「地域貢献の推進」については、地域に開かれた学校としてボランティア活動や地域行事へ参加し、社会のニーズに応じて環境活動や地域社会に積極的に参加する生徒の育成を目指す。

「個性豊かな生徒の獲得」については、女子の総合学園として、短期大学・大学への内部進学を希望する生徒の募集に力を入れると共に、尚絅の魅力発信の充実と広報戦略の見直しを行い、様々な生徒を広く受け入れるために、生徒・保護者・同窓会との連携を深め、広報活動の充実を図る。

## 4. 尚絅大学附属こども園

附属こども園では、「認定こども園教育・保育要領」等3法令の改訂等の趣旨を受け、教育・保育の目標達成をめざし「尚絅らしさ」を生かした改善・充実に努めるとともに、在園児保護者と地域保護者の支援に努めるという2つの目的の達成による社会貢献に努めています。

まず、教育・保育です。「全体的な計画(教育課程)」を完成させ、「子どもの発育にふさわしい自然の風情をそのままに生かし、環境の構成(教育的な意図)を創造し、子どもの健やかな成長をめざす」ことを目標に「尚絅らしさ」を「自然豊かな園庭で伸び伸びと遊ぶ園児」として、全教職員が質の高い、温かい愛情に満ちた教育・保育を推進します。今後は、協働してクリエイティブな実践を展開していくことが課題です。

次に、保護者支援です。日頃の教育・保育の充実やPTA(杉の子会)との協力と共に、在園児保護者にも地域保護者にとっても安心できる子育て支援を「どんぐりルーム」や「子育て相談会」等で推進しています。ここ数年、特別な支援を必要とする園児や援助・配慮をする保護者の増加に伴い、園児の安全性の確保や発達特性に応じた教育・保育の対応力の向上、療育施設との連携・協力、保護者の相談事業等はもとより、保育者の数の確保や研修が急務となっていますが、保育者の常時確保が難しく決して安全な教育・保育が保障されているとは言えない状況も見られます。今後は、国の待遇改善事業を活用して保育者の待遇改善を図り十分な保育者の常時確保に努め、園児の安全性をより高めて保護者に安心していただける環境づくりが課題です。また、園児の命と安全を守るために、子育てに不安や困り感をおもひの保護者、DVや児童虐待事業等に対して、行政機関・小学校・施設・児童相談所・警察等との連携・協力による支援を実施しています。

さらに、本園の使命である教育実習の充実に努めていますが、担任保育者の業務負担が大きく担当が難しい保育者もあり、実習内容の見直しや改善が課題です。令和5年度からの4年制新学部新設を据えて、教育実習の在り方の改善・開発の協議も始めています。今後とも、学校法人としての社会貢献度を高め、附属園の使命として次世代保育者の育成に努めます。

喫緊の課題は、収支均衡のための園児の確保です。周辺市町は熊本市のベッドタウンとして人口増加率が高く海外からの進出企業の影響もあり数年は少子化の影響は少ないといわれていますが、共働き家庭の急増に伴う1号認定希望園児の減少、2号・3号認定希望園児の需要増加に対応できず、収支均衡を実現する園児の確保ができていない現状です。これまで、1号園児数を確保するために従来の在園児に加えて卒園児の弟妹枠を設けたり、保護者の需要に応じ新2号園児の確保に対応したり、満3歳児を12名から18名に増やしたり、その他にも保護者サービスの向上に努めてきました。将来的には、必要な教員数を年度当初に確保した上で、収支均衡を実現するための定員の見直し等の対応に迫られています。

また、保育者の確保も大きな課題です。全国的な保育者不足であり、本園でも保育者確保ができないと園児の確保もままなりません。国もこれまでの待遇改善事業に加えて「待遇改善臨時特例事業」を始めて保育者の待遇改善を図っている現状です。本園でもこれらの事業を活用して国が求めているレベルの待遇にすることが急務です。DX化推進は、Zoomで園外研修に参加したり、「1号一時預かり保育」のメール受付で保護者の利便性を高めています。今後は、適切なICTシステムを導入して、教育・保育への活用や業務の利便性の向上、園児の安全性の向上、保護者の利便性向上等できるところから取り組みます。広報誌やHP欄の充実、地域社会や自治体・市町教委・小・中学校・諸機関との連携、学校評価を生かした教育・保育の改善にも取り組みます。

## 尚絅大学・尚絅大学短期大学部 イベント情報

## 尚絅大学・尚絅大学短期大学部

## OPEN CAMPUS 2023

## 開催日

令和  
5年  
7/22土・23日  
8/6日

令和  
6年  
3/24日  
【開催時間】  
【学部・学科プログラム】10:00~12:30  
【個別相談会(希望者)】13:00~14:00

## 内容

- 学部・学科紹介
- キャンパスツアー
- 入試説明会
- 学食体験(希望者)

## イベント

- エントリーシート・志望動機  
対策講座を開催します!
- 7月23日(日) 13:30~15:00
- 小論文対策講座を開催します!
- 8月6日(日) 13:30~15:00

申込はこちらから



## 事前予約制(当日の受付も可)

本学ホームページよりお申し込み可能です。  
お申し込み多数の場合、参加希望日変更のお願い、  
もしくはお断りする場合がございますのでご了承ください。

## 実施場所 九品寺キャンパス

現代文化学部 文化コミュニケーション学科  
生活科学部 栄養学科  
短期大学部 総合生活学科・食物栄養学科

## 実施場所 武蔵ヶ丘キャンパス

こども教育学部 こども教育学科  
短期大学部 幼児教育学科

尚絅学園  
マスクット  
キャラクター  
花くま

【お問い合わせ先】 入試センター TEL:096-273-6300 FAX:096-273-6781 E-mail:nyushi@shohei-gakuen.ac.jp

## 尚絅中学・尚絅高等学校 イベント情報

## 中高オープンスクール・説明会

	開催日	時間
オープンスクール	第1回	7月22日(土) 9:30~
	第2回	8月 5日(土) 9:30~
	第3回	9月 9日(土) 9:30~
ナイト説明会	第1回	11月17日(金) 18:30~
	第1回	11月11日(土) 9:30~
入試説明会	第2回	11月23日(木) 9:30~

対象:小中学生とその保護者

申込:事前予約制。ホームページより申込み可能です。

内容:学校紹介・コース紹介・部活動紹介・入試説明・校舎見学、個別相談

場所:尚絅中学・高等学校(九品寺キャンパス)

※状況によって中止、または開催方法等の変更の可能性があります。

変更する場合は本校ホームページでお知らせいたします。

※個別の学校案内はホームページから随時申込可能です。

参加  
待ってるよ!  
尚絅に  
おいでよ!



## 申込方法

ホームページより  
申し込みが可能です



ホームページ  
LINE

【お問い合わせ先】 中高事務室 TEL:096-366-0295 FAX:096-372-8341 E-mail:jhjimu@shohei-gakuen.ac.jp